



株主メモ			
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	単元株式数	1,000株
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主總會	毎年6月下旬		

配当金のお支払について


第175期期末配当金は、同封の「第175期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、その裏面記載事項をご高覧のうえ、払渡期間(平成27年6月29日～平成27年7月31日)内にゆうちょ銀行および郵便局窓口にてお早めにお受け取りください。また、銀行預金口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受取方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。

株式に関するお手続きについて

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。 みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	○未払配当金の支払、支払明細発行については、上記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 ○単元未満の買取以外の株式売買はできません。 ○電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。	

公告方法 電子公告(<http://www.rutsubo.com/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

ルツボについて 5,000年以上の歴史を持つルツボは、人類に様々な文明をもたらしてきました。現在でも、自動車・電気機器・機械・IT機器・公共土木・住宅関連・環境関連部品の製造には欠かせず、まさに一国の産業を支える器(うつわ)です。そのサイズは、酒杯くらいものから、大きいものは直径1m、高さ1.5mのものまであり、銅合金で5.5トン、アルミニウムで1.7トンを溶解できます。ルツボは器としての機能は変わっていませんが、その素材および製造技術は日進月歩であり、当社のルツボも最先端の技術により進化を続けています。アジアの経済発展が急速に進む今、様々な産業で大量の金属部品が必要とされ、そのために最高品質のルツボが求められています。当社のルツボは新たな時代のニーズに確実に応えています。



NIKKAN
Report
第175期 報告書
2014年4月1日～2015年3月31日



日本ルツボ株式会社
NIPPON CRUCIBLE CO., LTD.
証券コード 5355

Heart & Spirit Ecology Challenge

Top Interview

●トップインタビュー

**当社は、グループ一丸となって、
伝統を守りつつ、いかなる時代、
いかなる環境にも適合する会社を
目指してまいります。**

平素、株主の皆様におかれましては、当社グループへの
一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第175期(2015年3月期)の業績および事業
概況についてご報告させていただきます。

代表取締役社長

大久保正志

最初に、経営方針についてお聞かせください。

当社グループは、「お客様第一」のもと、常にお客様に喜んで
いただける製品やサービスを提供することを心掛けており
ます。

お客様にご満足いただくためには、「モノづくり」をはじめ、
すべての仕事の原点である「現場力」と、高い目標を必ず達
成する「実現力」がなければなりません。全社員が一丸とな
って目標に向かって邁進するなかで、それぞれが仕事に喜び
や生きがいを見出し、個人の能力を最大限に発揮することで、
自らを高め人間として成長することができるのです。

社員一人ひとりが夢を抱き、いきいきと働き、自ら立てた
目標を確実に達成していくことで、お客様に新たな価値を提
供し続けてまいります。

当社は、グループ一丸となって、130年の伝統を守りつつ、
いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指してま
いります。

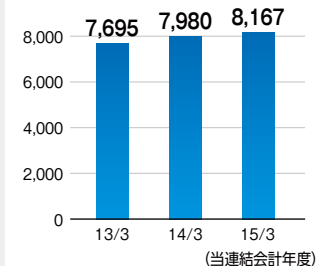


連結財務ハイライト

売上高

81億67百万円

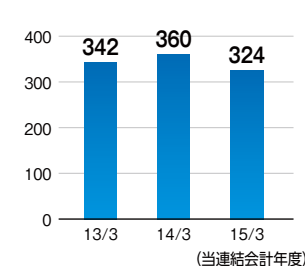
(単位:百万円)



経常利益

3億24百万円

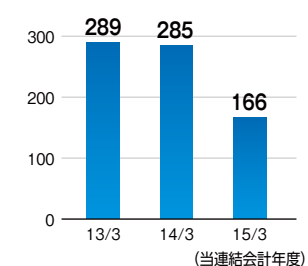
(単位:百万円)



当期純利益

1億66百万円

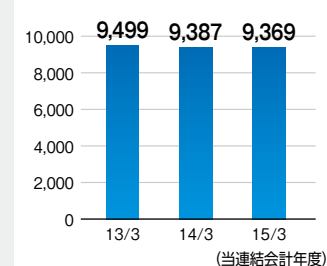
(単位:百万円)



総資産

93億69百万円

(単位:百万円)



第175期(2015年3月期)の業績について ご説明ください。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による
経済政策や金融政策を背景に輸出産業を中心に企業収益の
改善が進み、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。
しかしながら、消費税増税の影響による個人消費の低迷
および円安による原材料価格の上昇、さらには中国やアジア
経済の成長率の鈍化等懸念材料も多く、景気の先行きは不
透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取
引先である自動車関連産業は、円安により輸出環境が改善し
たことに加え、北米を中心とした海外市場での販売が好調に
推移したことにより、業績は大きく改善いたしました。しか
しながら、国内においては、消費税増税の影響から販売が落
ち込み、国内自動車生産は前年比減少と厳しい状況が続いて
おります。

鉄鋼産業につきましては、国内の建設関連や公共事業等の
好調な需要を背景に、原材料となる鉄鉱石の価格の下落もあ
り、業績は改善いたしました。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体
となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してま
いりました。その結果、当連結会計年度の売上高は81億6千
7百万円(前年同期比2.4%増)となりました。しかしながら、
利益面では、円安による原材料価格の大幅な上昇により製造

原価が大きく上昇したため、営業利益は2億3千6百万円(前
年同期比31.1%減)、経常利益は3億2千4百万円(前年同期
比10.1%減)となりました。当期純利益は、子会社の減損処
理に伴う特別損失2千7百万円の計上および平成27年度税制
改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより、1億6千6百万円(前
年同期比41.8%減)と大幅な減益となりました。

第175期の配当についてはいかがでしょうか。

当社の配当方針は、株主の皆様への利益還元を経営上の最
重要課題のひとつと考え、業績の状況、配当性向、企業体質強
化のための内部留保などを総合的に判断し、業績に応じた適
正な利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

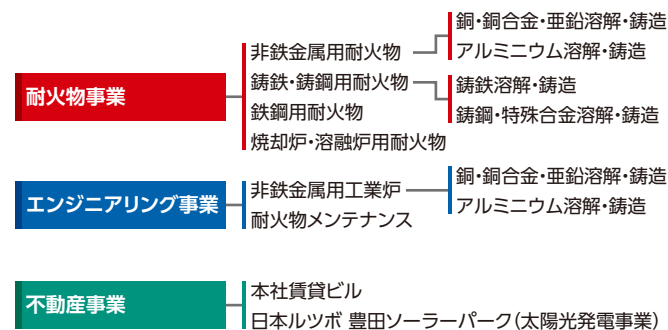
第175期の配当につきましては、当期業績を踏まえ、1株
につき4円とさせていただきます。

最後に、株主の皆様へのメッセージを お願いいたします。

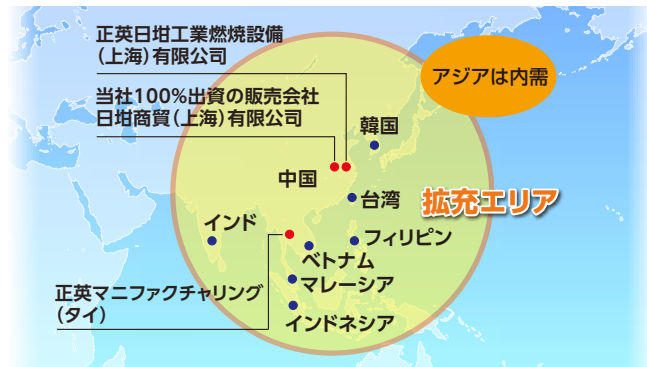
当社は、130年の歴史を有する耐火物専門メーカーとして、
今後も更なる品質改善に努め、お客様に喜んでいただける製
品とサービスを提供してまいります。また、グループ一丸とな
って、競争力、収益力、成長力のある企業体質の確立を指
してまいります。

今後とも、株主の皆様よりの変わらぬご支援を賜りますよ
うお願い申し上げます。

事業内容のご紹介



グループの海外ネットワークと戦略

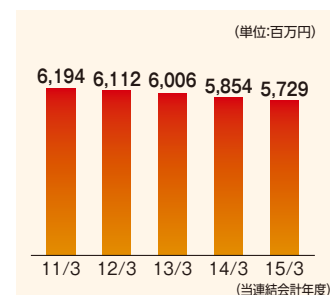


セグメント情報

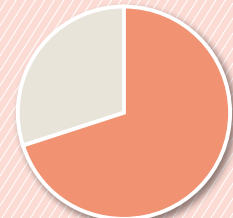
耐火物事業



売上高 **5,729** 百万円



売上高構成比率



耐火物事業の事業戦略は、国内市場のシェアアップを着実に図り、中国およびアジア市場への積極的な営業活動により海外市場の casting 分野で「アジア No.1」の地位を確立することにあります。また、「省エネ型製品」「環境に優しい製品」「次世代特殊金属溶解用製品」等に対する技術開発を積極的に進め、更なる品質向上と新たな用途開発にも努めております。

第175期の当社を取り巻く経営環境は、急激な円安による原材料価格の大幅な上昇により製造原価が大きく上昇したため厳しい環境が続いております。また、主要取引先である自動車関連産業も業績は大きく改善しているものの、国内生産台数が消費税増税の影響から回復が遅れており、厳しい状況にあります。

このような状況のなか、 casting 市場向けでは、誘導炉市場への取組強化や主力製品である黒鉛ルツボおよび不定形耐火物の更なる品質向上と新たな用途開発を進めるとともに、「高周波誘導炉用ルツボ (ホワイトフェニックス)」「省エネ型縦溝付ルツボ (ゼブラックス)」「低レベル放射性廃棄物処理用ルツボ (キャニスタ)」「高純度ジルコニアルツボ (ジルコニックス)」等の開発製品の販売活動を積極的に進めてまいりました。また、新製品として「取鍋電気加熱装置 (エレマックス)」を開発いたしました。鉄鋼市場向けでは、製品の更なる品質向上と技術サービスの強化に努め、きめ細かな顧客対応等によりシェアの維持、拡大を図ってまいりました。



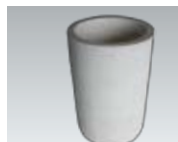
キュボラ用耐火物



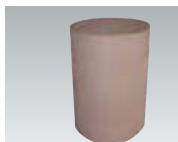
フェニックスルツボ



省エネ型縦溝付ルツボ (ゼブラックス)



高周波誘導炉用ルツボ (ホワイトフェニックス)



低レベル放射性廃棄物処理用ルツボ (キャニスタ)

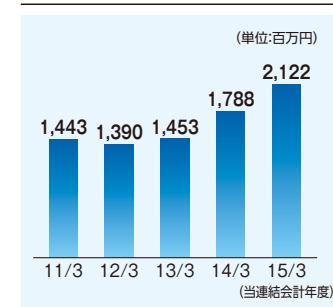


高純度ジルコニアルツボ (ジルコニックス)

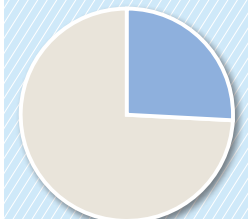
エンジニアリング事業



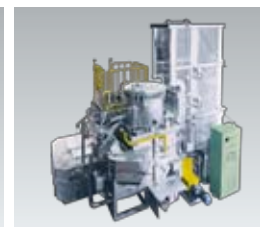
売上高 **2,122** 百万円



売上高構成比率



ルツボ式連続溶解兼保持炉 (メルキーパー)



中小型溶解兼保持炉 (NM炉)



アルミ溶湯搬送取鍋 (ポットリーベ)



特殊補修材 (フイックセッター)

当社のエンジニアリング事業は、 casting casting 市場および非 casting casting 市場を担当する「築炉事業部」と、焼却炉・溶融炉市場を担当する「環境事業部」が、耐火物メーカーとしてのエンジニアリング事業を推進しております。

築炉事業部は、企業の設備投資が回復してきたことにより、省エネ・高歩留まり・高品質溶湯の「ルツボ式連続溶解兼保持炉 (メルキーパー)」や安全性とメンテナンス性を大幅に改善したレンガ式の「中小型溶解兼保持炉 (NM炉)」などの受注が大きく伸び、また海外市場においても炉の受注や炉修工事も順調に推移いたしました。

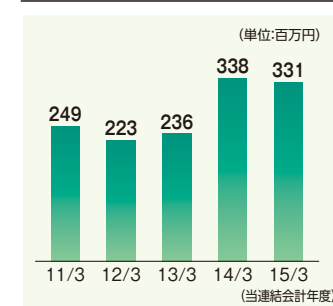
環境事業部は、民間から自治体に至る焼却炉や溶融炉の補修工事に受注を大きく伸ばすことができました。

今後他社にない特長のある炉の開発と販売に注力し、メンテナンス工事についても耐火物メーカーとして自社製品の拡販を積極的に進めてまいります。

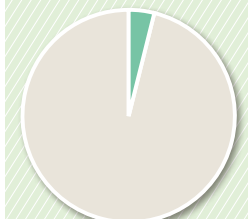
不動産事業



売上高 **331** 百万円



売上高構成比率



本社ビルの賃貸事業は13年目を迎えますが、立地条件の良さから安定した入居率を維持しております。引き続き、お客様のニーズに合ったテナントビルとして、設備の充実に努めてまいります。

2013年3月より新規事業として開始した太陽光発電事業は、当初予想を上回る発電量を確保しており、安定した収益事業となっております。

今後とも、本社ビルの賃貸事業と太陽光発電事業を中心に、不動産事業として安定的な収益の確保に努めてまいります。



日本ルツボ本社ビル



日本ルツボ 豊田ソーラーパーク

(注) 1.売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
2.上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。

New 新製品情報

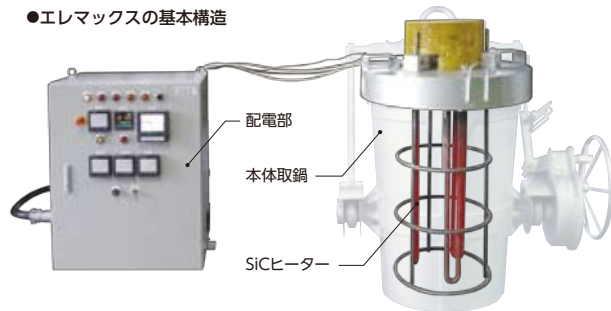
取鍋電気加熱装置

金属の溶湯を適温に保つため、取鍋の加熱方法を一般的なバーナー方式から、電気加熱方式に変えました。

「取鍋電気加熱装置(エレマックス)」は、鋳造現場で使用される取鍋(とりべ)を低コストで電気加熱する装置です。取鍋は溶解炉からでる溶湯を受け運搬や鑄込みを行う容器ですが、予め加熱し溶解金属の温度を下げないようにします。これまでは、ガスまたは油をバーナーで燃焼させて加熱する方式が一般的ですが、燃焼排熱や騒音等による現場環境の悪化が避けられませんでした。エレマックスはそれらの問題点を改善し、比較的容易に高温が得られるSiCヒーターを断熱蓋にセットし、取鍋の上にかぶせた状態で加熱が行えるようにいたしました。取鍋を密閉した状態で内部を加熱することにより、エネルギー効率を従来のバーナー方式の30%以下から70%以上に向上*させることができました。その結果加熱コストの低減及び排熱、騒音がなくなり、製造現場の環境を大幅に改善することができ、大手自動車会社などに採用いただいております。

*当社実験結果より

●エレマックスの基本構造



開発担当者から「ひと言」

当社は「取鍋用流し込み耐火物」「アプレハブ化した耐火物のカセットトリーベ」「高い断熱層を付加しアルミ溶湯の公道搬送を可能にしたポットトリーベ」などの製造販売を通して取鍋に深く関わってまいりました。今回、更に取鍋の新しい加熱方法を提案することで、お客様のコスト低減や環境改善のお手伝いをし、日本のものづくりの一助になればと考えエレマックスを開発いたしました。



SiCヒーターを用いた取鍋電気加熱装置

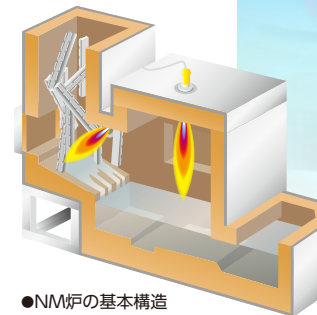
ELEMAX
エレマックス

製品フォーカス
FOCUS

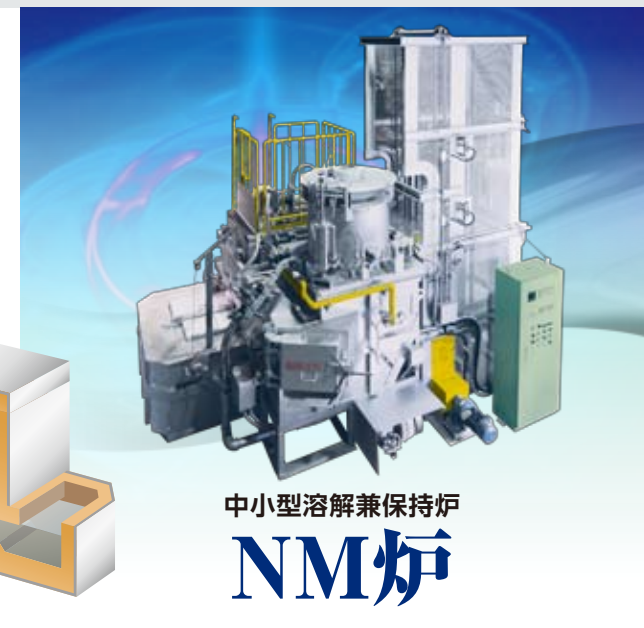
溶解兼保持炉

大型炉・ルツボ炉の実績で培った技術を凝縮して誕生した最新モデル。

当社は、安全性と酸化物処理などのメンテナンス性を高めた「中小型溶解兼保持炉(NM炉)」と、省エネ・高歩留まり追求した「ルツボ式溶解兼保持炉(メルキーパー)」二つのバリエーションで多様な客先ニーズにお応えしております。ご好評をいただいている新開発のNM炉は、省電力ダブルブローとコンパクトバーナー採用など省力と省エネの様々な工夫に加え、金属タワー化で省エネ性能を一層アップさせました。どちらも高品質の自社製品純正耐火物(省エネ型縦溝付ルツボ(ゼブラックス)、アルミ浸透防止ARレンガ、浸透・付着防止特殊キャスト(ALTEx-SAL))が性能をバックアップしております。



●NM炉の基本構造



TOPICS トピックス

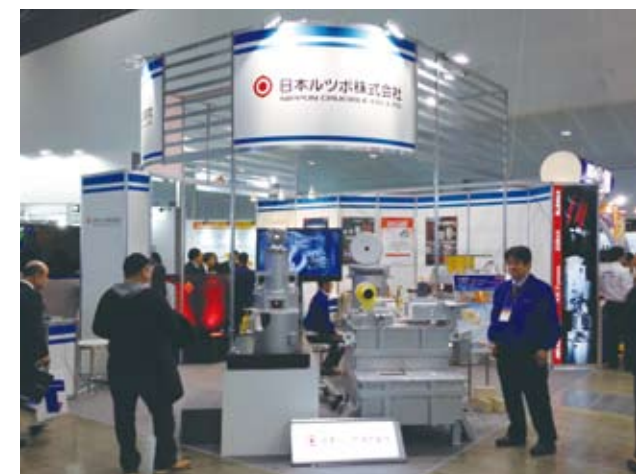
2014日本ダイカスト会議・展示会へ当社製品を出展しました。

一般社団法人 日本ダイカスト協会主催による2年に1度開催される展示会が、2014年11月13日～15日までパシフィコ横浜にて開催されました。

当社は新製品の「中小型溶解兼保持炉(NM炉)」、SiCヒーターを使用した「取鍋電気加熱装置(エレマックス)」、「省エネ型縦溝付ルツボ(ゼブラックス)」などを出展いたしました。来場されましたダイカストメーカー様から当社製品の省エネ性に興味を持たれ多くの引き合いをいただきました。



▲メルキーパーの構造が分かる縮小模型やNM炉の1/2モデルを展示。



▲当社展示ブース。開放的な作りにして、展示物を前面に出しました。製品がお客様の目に止まるように工夫をしております。

◎ 連結貸借対照表

科目	当連結会計年度 2015年3月31日現在	前連結会計年度 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,817,154	5,766,173
現金及び預金	1,453,163	1,560,690
受取手形及び売掛金	2,462,640	2,464,720
電子記録債権	136,728	39,370
たな卸資産	1,479,966	1,397,830
その他	290,979	309,550
貸倒引当金	△6,322	△5,987
固定資産	3,552,300	3,620,337
(有形固定資産)	(2,033,782)	(2,189,378)
建物及び構築物	919,797	962,374
機械装置及び運搬具	762,058	861,359
土地	104,875	95,775
その他	247,052	269,870
(無形固定資産)	(119,538)	(118,463)
(投資その他の資産)	(1,398,980)	(1,312,496)
投資有価証券	576,050	485,061
繰延税金資産	263,455	302,207
その他	564,106	530,102
貸倒引当金	△4,631	△4,874
資産合計	9,369,454	9,386,510

POINT(連結貸借対照表)

- ①**流動資産** 借入返済により現金及び預金が1億8百万円減少し、電子記録債権が9千7百万円増加いたしました。
- ②**固定資産** 減価償却により有形固定資産が1億5千6百万円減少いたしました。株価の上昇により、投資有価証券が9千1百万円増加いたしました。
- ③**流動負債** 支払手形を電子債権決済サービスに切替えたことにより、支払手形及び買掛金が3億3千6百万円減少し、電子記録

- 負債が4億6千5百万円増加いたしました。短期借入金が9千7百万円減少いたしました。
- ④**固定負債** 長期借入金が2億4千7百万円減少いたしました。
- ⑤**株主資本** 利益剰余金が9千9百万円増加いたしました。自己資本比率は39.2%と前連結会計年度末比2.4%増加いたしました。

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 2015年3月31日現在	前連結会計年度 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	3,786,173	3,755,167
支払手形及び買掛金	604,627	940,922
電子記録債務	880,206	415,644
短期借入金	1,578,700	1,675,693
その他	722,640	722,908
固定負債	1,901,605	2,160,782
長期借入金	859,300	1,106,000
退職給付に係る負債	567,802	545,651
その他	474,503	509,131
負債合計	5,687,778	5,915,949
純資産の部		
株主資本	3,462,168	3,363,749
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	56,076	56,076
利益剰余金	2,770,809	2,672,257
自己株式	△69,237	△69,104
その他の包括利益累計額	208,384	91,811
少数株主持分	11,124	15,001
純資産合計	3,681,676	3,470,561
負債純資産合計	9,369,454	9,386,510

◎ 連結損益計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 自 2014年4月1日 至 2015年3月31日	前連結会計年度 自 2013年4月1日 至 2014年3月31日
売上高	8,167,072	7,979,533
売上原価	6,157,834	5,868,461
売上総利益	2,009,238	2,111,072
販売費及び一般管理費	1,772,820	1,768,002
営業利益	236,418	343,070
営業外収益	138,598	85,550
営業外費用	50,965	68,146
経常利益	324,051	360,474
特別利益	—	47,013
特別損失	32,837	12,650
税金等調整前当期純利益	291,214	394,837
法人税、住民税及び事業税	119,080	118,700
法人税等調整額	9,862	△4,343
少数株主損益調整前当期純利益	162,272	280,480
少数株主損失(△)	△3,877	△4,762
当期純利益	166,149	285,242

◎ 連結株主資本等変動計算書 (自 2014年4月1日 至 2015年3月31日)

(単位:千円、千円未満四捨五入)

項目	株主資本				その他の包括利益累計額						少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	704,520	56,076	2,672,257	△69,104	3,363,749	83,891	△1,234	39,918	△30,764	91,811	15,001	3,470,561
当期変動額												
剰余金の配当			△67,597		△67,597							△67,597
当期純利益			166,149		166,149							166,149
自己株式の取得				△133	△133							△133
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	63,953	343	21,513	30,764	116,573	△3,877	112,696
当期変動額合計	—	—	98,552	△133	98,419	63,953	343	21,513	30,764	116,573	△3,877	211,115
当期末残高	704,520	56,076	2,770,809	△69,237	3,462,168	147,844	△891	61,431	—	208,384	11,124	3,681,676

◎ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当連結会計年度 自 2014年4月1日 至 2015年3月31日	前連結会計年度 自 2013年4月1日 至 2014年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	509,957	1,047,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,981	△145,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488,211	△848,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,708	127
現金及び現金同等物の増減額	△107,527	53,723
現金及び現金同等物の期首残高	1,422,090	1,297,316
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	71,051
現金及び現金同等物の期末残高	1,314,563	1,422,090

POINT(連結損益計算書)

売上高は81億6千7百万円と前連結会計年度比1億8千8百万円増加いたしました。円安による原材料価格の大幅な上昇により製造原価が上昇したため、営業利益は2億3千6百万円と前連結会計年度比1億7百万円減益となりました。経常利益は3億2千4百万円と前連結会計年度比3千6百万円の減益となりました。
当期純利益は、特別損失の計上および税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより、1億6千6百万円となり前連結会計年度比1億1千9百万円の減益となりました。

◎ 貸借対照表

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当事業年度 2015年3月31日現在	前事業年度 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	4,884,111	4,845,884
固定資産	3,032,443	3,132,870
資産合計	7,916,554	7,978,754
負債の部		
流動負債	3,427,854	3,319,690
固定負債	1,672,312	1,931,866
負債合計	5,100,166	5,251,556
純資産の部		
株主資本	2,669,679	2,644,785
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	56,076	56,076
利益剰余金	1,978,320	1,953,293
自己株式	△69,237	△69,104
評価・換算差額等	146,709	82,413
純資産合計	2,816,388	2,727,198
負債純資産合計	7,916,554	7,978,754

◎ 損益計算書

(単位:千円、千円未満四捨五入)

科目	当事業年度 自2014年4月1日 至2015年3月31日	前事業年度 自2013年4月1日 至2014年3月31日
売上高	7,808,199	7,588,365
売上原価	6,043,521	5,754,764
売上総利益	1,764,678	1,833,601
販売費及び一般管理費	1,596,148	1,577,566
営業利益	168,530	256,035
営業外収益	93,249	59,178
営業外費用	46,572	63,954
経常利益	215,207	251,259
特別利益	—	47,013
特別損失	31,527	9,355
税引前当期純利益	183,680	288,917
法人税、住民税及び事業税	87,000	76,000
法人税等調整額	4,056	△9,732
当期純利益	92,624	222,649

◎ 株主資本等変動計算書

(自2014年4月1日 至2015年3月31日)

(単位:千円、千円未満四捨五入)

項目	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計			
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
当期首残高	704,520	56,076	56,076	163,380	10,000	780,661	999,252	1,953,293	△69,104	2,644,785	83,647	△1,234	82,413	2,727,198
当期変動額														
剰余金の配当							△67,597	△67,597		△67,597				△67,597
当期純利益							92,624	92,624		92,624				92,624
自己株式の取得									△133	△133				△133
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										63,953	343	64,296		64,296
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	25,027	25,027	△133	24,894	63,953	343	64,296	89,190
当期末残高	704,520	56,076	56,076	163,380	10,000	780,661	1,024,279	1,978,320	△69,237	2,669,679	147,600	△891	146,709	2,816,388

会社概要

(2015年3月31日現在)

社名	日本ルツボ株式会社 (登記上社名:日本坩堝株式会社) Name:Nippon Crucible Co., Ltd.
設立	明治39年(1906年)12月
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル TEL(代表) 03-3443-5551
資本金	7億452万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
会計監査人	有限責任監査法人 トーマツ
証券コード	5355
従業員数	企業集団の従業員数 200名 当社の従業員数 152名

役員

(2015年6月26日現在)

取締役会長	岡田 民雄
代表取締役社長	大久保 正志
専務取締役	佐野 俊昭
常務取締役	坂本 信治
取締役	大橋 秀明
取締役	岡田 光一
取締役	岩谷 誠治
常勤監査役	安田 哲夫
監査役	茂木 康三郎
監査役	草野 成郎

(注)1. 取締役岩谷誠治氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役安田哲夫氏、監査役茂木康三郎氏および監査役草野成郎氏は、社外監査役であります。

株式の状況

(2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	14,090,400株 (自己株式571,685株を含む。)
株主数	1,519名

大株主の状況

(2015年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
株式会社みずほ銀行	650,000株	4.80%
柏屋商事株式会社	550,000株	4.06%
岡田民雄	479,000株	3.54%
日本坩堝従業員持株会	474,000株	3.50%
野村信託銀行株式会社(信託口)	432,464株	3.19%
東京海上日動火災保険株式会社	280,000株	2.07%
岡元富男	255,000株	1.88%
日本精鉱株式会社	254,000株	1.87%
三井住友海上火災保険株式会社	238,000株	1.76%
ヒューリック株式会社	238,000株	1.76%

(注)1. 当社は自己株式571,685株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は自己株式571,685株を控除して計算しております。

株式の分布

(2015年3月31日現在)

